

「ふくいスマートルール」推進運動

「ふくいスマートルール」は、インターネット（PC、スマホ、携帯電話、ゲーム機等）を利用した通信（SNS、LINE、メール等）による、いじめや依存症など生活習慣の乱れを未然に防止するために策定されました。このルールを基に、子どものインターネット利用による弊害について、子ども・学校・保護者・地域がみんなで考え、よりよい利用の方法について話し合いが行われることを期待します。

「ふくいスマートルール」を、みんなの手で“真のルール”に成長させていきましょう。

（いじめ問題対策連絡協議会）

わたしたち みんなですすめる「ふくいスマートルール」

- 1 ・インターネット上に、人の嫌がることや悪口を書き込みません。
・インターネット上に、名前・住所・顔写真などの個人情報などを安易に載せません。
- 2 ・SNSやメールおよびゲーム等の通信は、夜9時以降は行いません。
（緊急なときは除く）。
・SNSやメールおよびゲーム等の通信は、1日1時間までとします。
- 3 ・インターネットやSNSのより良い使い方を考えます。
・インターネットやSNSでいじめ等の問題が起こったら、親や先生などに相談します。

大人もいっしょに考える「ふくいスマートルール」推進運動

- 1 家庭、学校、地域がインターネットのより良い利用法を一緒に考え、大人が率先して、「ふくいスマートルール」を子どもたちと一緒に実行します。
- 2 家庭では、使用時間や置き場所など、わが家のルールをつくります。
・月に一度は、家族で、利用状況などルールを守る話し合いをします。
・有害サイトによる被害を防ぐため、フィルタリングの設定を進めます。
- 3 学校では、児童生徒と教員が、インターネットのより良い利用を考える場をつくり
ます。
・教員は、日ごろから、ネットいじめやトラブルなどを把握します。
・教員は、インターネットの使い方や指導について研修します。
- 4 地域では、「ふくいスマートルール」に基づいたスマホやケータイのルールやマナーを呼びかけます。